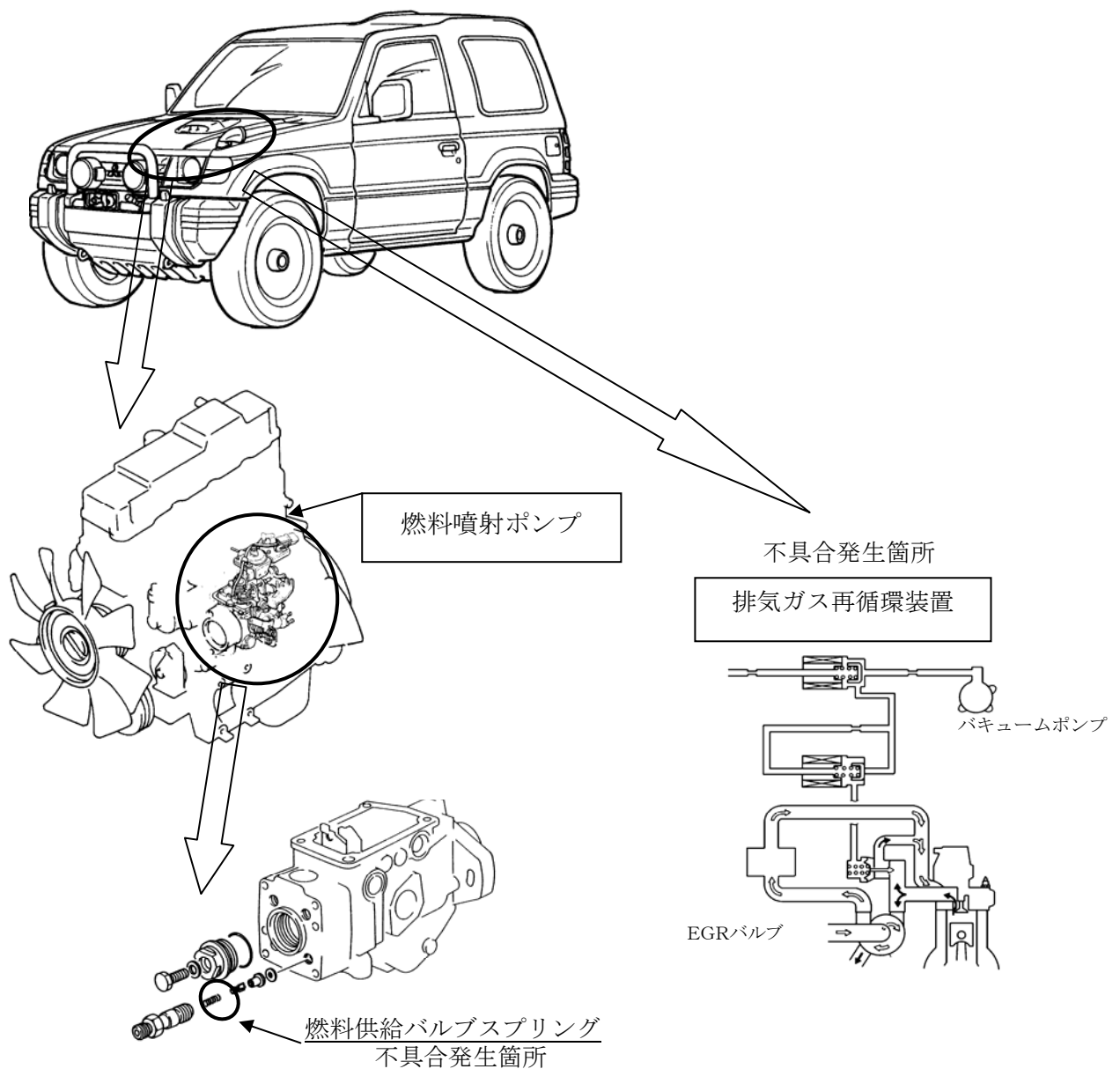


改善箇所説明図



原動機（ディーゼル）の機械式燃料噴射ポンプにおいて、部品メーカーでの組付け作業時の指示が不適切なため、燃料供給バルブのスプリングに異品が装着されており、燃料の供給開始タイミングが異なる場合がある。そのため一部の走行領域において黒煙排出量が増大するおそれがある。なお、販売会社への当該車両に対する整備指示が不適切なため、販売会社において不適切な整備がされ、排気ガス再循環装置が正規な状態と異なる車両がある。

改善の内容

全車両、燃料噴射ポンプを点検し、燃料供給バルブのスプリングに異品が装着されている車両は燃料噴射ポンプを正規状態に改修する。また全車両、排気ガス再循環装置を点検し、正規状態と異なるものは復元し、適切な整備を実施する。

注：図中の 内は改修部品を示す。

識別：噴射ポンプの型番ラベルの横に白色または黄色のペイントを塗布する。

エンジンルームの銘板の右側に白色または黄色のペイントを塗布する。